

# 公益財団法人仙台市市民文化事業団 令和6年度事業計画書

## 1. 定款第4条第1号、第2号、及び第3号の事業（市民の文化芸術及び郷土の歴史に関する活動等の支援及び育成、普及啓発及び情報発信、交流及び協働の促進）

番号	事業名	期日	会場	支出	収入	収入内訳・備考
	事業内容					入場者数等見込・備考 (単位:千円)

### (1) 芸術文化振興事業

① 市民文化事業への支援事業						
1	<b>文化芸術を地域に生かす創造支援事業</b>	通年	—	27,130	27,130	市補助金 27,130
「仙台市文化芸術推進基本計画」に基づく取組みとして、観光、まちづくり、福祉、教育等他分野との連携により社会課題と向き合う公益性の高い文化芸術活動や、市民に優れた文化芸術の鑑賞機会を提供する事業に対して助成する。実施にあたっては、地域の芸術家、市民団体、民間施設等から広く公募し、文化芸術の専門家や有識者からなる外部委員会による選考を経て、採択事業を決定する。		創造発信事業: 15~20件程度 社会連携事業: 7~10件程度				
2	<b>支援・助成・協力事業</b>	通年	—	22,290	21,442	市補助金 21,442
市内で活動する団体・個人が行う文化芸術事業に対し、公募により広報支援、資金援助、その他の各種協力を行う。 ①支援事業: ウェブサイトに市民企画事業の告知を掲載し、広報支援を行う。 ②助成事業: 仙台市の文化芸術の振興と普及啓発及び郷土の歴史継承を推進するため、市民自らが行う公演・展示・上映等の経費の一部を助成する(「公演・展示活動助成事業」)。年2回公募。 ③協力事業: 特に公益性の高い事業について、入場券の販売協力、人材の紹介や派遣、事務局への参画、文化施設等での各種協力等を行う。また、良質な文化事業に対し、事業団友の会会員への割引チケット斡旋等の協力を行う。		支援: 約160件 助成: 約150件 協力: 約70件				
3	<b>名義後援</b>	通年	—	0	0	
団体・個人が行う文化芸術事業に対し、名義後援を行う。						

### ② 公演事業

4	<b>泉文化創造センターリニューアル記念事業</b>	通年	仙台銀行ホール イズミティ21	5,300	300	協賛金: 300
泉文化創造センターのリニューアルオープンを市民に広く知らせ、再び施設に足を運んでいただくことを目的とした事業として「泉文化創造センターリニューアル記念事業」を展開する。 ①イズミティ21まつり(5/26 仙台銀行ホール イズミティ21全館): 大ホールでは吹奏楽団コンサート、小ホールでは地元演奏家によるミニリサイタル、展示室、諸室では地元子育て支援団体の協力を得てミニコンサートやワークショップを開催、飲食を中心とした物販コーナーも設ける。(大ホール: 陸上自衛隊東北方面音楽隊、泉シンフォニックウインドオーケストラ、小ホール: タタル・ヘンリ、木下順子、宮地夏美、八巻梓、蔡翰平、佐々木真央、協力: NPO法人エムケイベース) ②彩の国シェイクスピア・シリーズ2nd Vol.1「ハムレット」(6/1, 2 大ホール): 故蜷川幸雄演出による前シリーズを引き継いで、吉田鋼太郎演出で新たに始まるシリーズ。第1回目は四大悲劇の中でも最高傑作と謳われるハムレットを上演。(仙台放送と共催)(出演: 柿澤勇人、北香那、吉田鋼太郎他) ③仙台フィルハーモニー管弦楽団特別演奏会エンターテインメント定期(5/4、8/10、3/20 大ホール) 仙台フィルが新たに開始するアニメーションなどの音楽に特化したシリーズ企画。第1回「コードギアス 反逆のルルーシュ」、第2回「機動戦士Zガンダム」「機動戦士ガンダム 逆襲のシャア」、第3回「アイカツ! シリーズ」。		入場者: ①3,000人 ②2,400人 ③3,600人				
5	<b>宝塚歌劇月組全国ツアー 仙台公演</b>	9/6~8	仙台銀行ホール イズミティ21	39,856	51,320	入場料等 50,370 協賛金 350 その他 600
東北の中枢都市圏としてニーズの高い宝塚歌劇の公演を継続する。仙台銀行ホール イズミティ21の大規模改修後の初の公演となりリニューアル記念事業の一環として開催する。		入場者: 5,200人				
6	<b>仙台クラシックフェスティバル2024</b>	10/4~10/6	日立システムズホール仙台、仙台銀行ホール イズミティ21、太白区文化センター他	90,000	85,900	市負担金 23,300 入場料 54,167 協賛金他 8,433
事業団設立20周年記念事業として、2006年(平成18年)、クラシック音楽に親しみを持ってもらい、より多くの方々にホールで聴く生演奏の魅力をお届けることを目的に立ち上げた事業。当年度で18回目を迎える。令和6年度に再開する仙台銀行ホール イズミティ21、日立システムズホール仙台、太白区文化センターを会場に、3日間で80公演を実施するほか、プレ企画として仙台市の文化施設3箇所を会場に、9月中(9/8, 16, 19)に「街なかコンサート」を開催する。 ・ホール公演は、45分と60分の公演時間、チケットは一般の公演と比較し手の届きやすい料金で、本格的なクラシック音楽を気軽に楽しんでもらう。 ・無料で鑑賞できる地下鉄駅コンサートを設けることにより、仙台市内にクラシック音楽があふれ、音楽の持つ力により、たくさんの方々に元気と希望、喜びをお届けることのできる音楽祭とする。 ・仙台国際音楽コンクール入賞者と仙台フィルハーモニー管弦楽団メンバー等とのアンサンブル、仙台・宮城出身アーティストの公演等、当事業団ならではの企画をより多く盛り込み、クラシック音楽で街の賑わいを創出する音楽祭とする。 ・音楽祭の運営にあたっては、多くの市民ボランティアとも連携する。		入場者: のべ35,000人				

7	もりのみやこのふれあいコンサート	12/4	仙台銀行ホール イズミティ21	3,616	3,616	市補助金 3,616
<p>障害のある方とご家族・同行者の方等にオーケストラの演奏を楽しんでいただくとともに、芸術文化活動を振興することを目的に開催するコンサート。仙台フィルハーモニー管弦楽団による親しみやすい演奏会で、回を重ねるごとに来場希望者が増えている。仙台市立中学校の特別支援学級の生徒の招待も実施している。事前申込制・入場無料で、仙台市及び仙台フィルと共催で開催。</p>						入場者:1,000人
8	共催事業	通年	日立システムズホール仙台他	1,130	0	
<p>放送局・文化芸術団体等が行う公益性の高い文化事業を共催し、市民に優れた文化芸術の鑑賞機会を提供する。当年度は、継続実施している仙台青葉能、人形浄瑠璃文楽、仙台オペラ協会第48回公演、第61回宮城県芸術祭、仙台短編文学賞のほか、「NTTデータ東北ウインターコンサート2024 木嶋真優&amp;酒井茜デュオ・リサイタル」(河北新報社)、「反田恭平&amp;ジャパン・ナショナル・オーケストラ」(仙台放送)、「YAMATO String Quartetコンサート」(ジェイ・ツー)等を共催する。</p>						

### ③ホール運営活性化事業

それぞれのホールが、その機能を十分に発揮する各種公演等を行うこと、そしてより地域に開かれた施設となるよう、さらには新たな利用の可能性を探るために各種事業を実施する。

9	劇場・音楽堂等機能強化推進事業 (青年文化センター文化庁文化芸術振興費補助事業)	通年	日立システムズホール仙台	90,157	83,832	市負担金 48,850 入場料等 3,571 助成金 31,411
<p>仙台市の文化芸術振興の中核施設として、育成・普及・創造の3つの社会的役割を果たす日立システムズホール仙台の発信事業。国からの補助金(文化芸術振興費補助金)を財源とした助成を受け、仙台市、公益財団法人仙台フィルハーモニー管弦楽団等と共催で実施。</p> <p>&lt;普及啓発事業&gt;</p> <p>①<b>青少年のためのオーケストラ鑑賞会</b>(7月、11月の2期 コンサートホール):新型コロナウイルスの影響で、4年にわたり学校訪問型で行ってきたが、当年度は、5年ぶりに小・中学生をコンサートホールに招き、フルオーケストラによる演奏会を実施する。</p> <p>②<b>日立システムズホール仙台「パフォーマンスフェスティバル」</b>(3/8 全館):4回目の実施。フリースペースを含め終日全館を活用した数多くの演目で構成する。各部屋の利用促進を図るため、普段施設を利用しない層に足を運んでもらえるような企画を用意する。公募ステージを継続させ、仙台を拠点に活動するアーティスト等による公演企画も実施する。(出演:六華亭遊花 予定)</p> <p>③<b>ダンスのいりぐちプログラム</b>(①6/8~7/7 全5回、②10/19、20、③1~2月 練習室4他):親子・多世代など企画毎に対象を設定して幅広い年齢の市民が豊かで柔軟な発想や感性を育み、一緒に考える力を育てるコミュニティダンスのワークショッププログラムを開催する。</p> <p>④<b>仙台おどりラボ</b>(日程未定 エッグホール):参加者同士の対話を促しながら、身体表現についての講義と鑑賞を織り交ぜたワークショップを実施する。「からだメディア研究室」との共催。</p> <p>⑤<b>リラックス・コンサート</b>(8/25 交流ホール):発達障害や身体的な特性等により、静かに鑑賞することが難しい人でも安心してクラシック音楽を楽しめるコンサートを開催する。</p> <p>&lt;公演事業&gt;</p> <p>⑥<b>仙台フィルと愉しむ「オーケストラ・ザンマイ!」Vol.1~ドイツ浪漫の深き味わい~</b>(7/15 コンサートホール):「オーケストラ・スタンダード」シリーズの後継企画として新たにスタートするシリーズ。第1回は指揮者に熊倉優を、ソリストには現在14歳ながらも国内で複数のコンクールで優勝を重ねる注目のトランペット奏者 児玉隼人を迎え、ドイツ作曲家のオーケストラ作品をご堪能いただく。</p> <p>⑦<b>仙台フィルと茂木大輔が贈る 名曲をとことん「味わいつくす」シリーズ ~第2回「英雄」(エロイカ)の巻~</b>(12/7 コンサートホール):茂木大輔によるわかりやすい解説で、一つのテーマを味わいつくす演奏会シリーズ。今回は「英雄」をテーマに、ベートーヴェンが交響曲「英雄」を書き上げた時代の背景を紐解く解説を交えつつ、「英雄」交響曲を全曲演奏する。</p> <p>⑧<b>仙台フィルと愉しむ「オーケストラ・ザンマイ!」Vol.2~オーケストラinシネマ~</b>(1/19 コンサートホール):シリーズ第2回は、映画音楽でも取り上げられたオーケストラ作品や、バーンスタイン、J.ウィリアムズなどクラシックと映画双方のジャンルで活躍した作曲家による作品を紹介する。</p> <p>⑨<b>シアターホール創造拠点事業</b>(12月予定 シアターホール):シアターホールが仙台の文化創造発達の拠点となるよう、新たな作品を創作、発信する。男子新体操アスリートで結成されたアクロバットパフォーマンスユニット「BLUE TOKYO」を中心に地元パフォーマーとの共演による舞台をお楽しみいただく。</p> <p>⑩<b>ライブ文学館vol.21 井上ひさし「組曲虐殺」</b>(12/15 シアターホール):仙台文学館開館25周年を記念し、初代館長・井上ひさしの遺作「組曲虐殺」を、仙台を代表する俳優・渡部ギウによる演出と、若手俳優のキャスティング、在仙の音楽家・榊原光裕の音楽で上演する。井上戯曲に造詣の深い朝日新聞記者の山口宏子のアフタートークも開催する。</p> <p>&lt;その他&gt;</p> <p>⑪<b>青年文化センター事業評価</b>(通年):青年文化センターの活性化に資する事業の評価を行い、事業運営を改善していくためのシステムを整えていく。</p>						<p>入場者、受講者数:</p> <p>①11,200人 ②2,000人 ③195人 ④55人 ⑤200人 ⑥520人 ⑦520人 ⑧520人 ⑨400人 ⑩566人</p>

10	青年文化センター活性化事業	通年	日立システムズホール仙台	1,652	225	受講料等 10 コピー料収入 215
<p>中期経営計画をふまえ、地域資源等を活用しながら文化創造・交流拠点としての施設機能の充実と利用促進を図り、より市民に親しまれる施設に向けた事業を行う。実施にあたっては助成金等の資金確保や他課との連携を継続し、安定的・効率的な運営を図る。</p> <p>①日立システムズホール仙台「パフォーマンスフェスティバル」(3/8 全館):4年目の実施。フリースペースを含め終日全館を活用した数多くの演目で構成する。各部屋の利用促進を図るため、普段施設を利用しない層に足を運んでもらえるような企画を用意する。公募ステージを継続させ、仙台を拠点に活動するアーティスト等による公演企画も実施する。(出演:六華亭遊花 予定)(再掲)</p> <p>②青年文化センター施設機能強化事業群 (1)地域連携事業(通年) 旭ヶ丘地域のコミュニティ事業「わんぱく森<sup>3</sup>(もりもり)がっこ」や、近隣施設との協働による地域に根差した施設としての役割を果たすための事業を行う。地域の子どもたちと一緒に花の寄せ植えを行い、ホール玄関や外周の美化を図る「フラワー大作戦」や、ホールエントランスの賑わいを創出するための季節もの展示の製作等を地域の方たちと一緒にを行う予定。</p> <p>(2)フリースペース活用事業(通年) 展示事業:エントランスホール等の共有スペースにおいて、地域の子どもたちの七夕飾りや冬のイルミネーション等、季節に応じた賑わい創出を図る。 知の場所づくり(サラダ文庫):事業団関係の書籍、雑誌等の文化情報を配架した移動ラックをエントランスホールに設置し、来館者に自由閲覧してもらおう。令和元年度から継続。</p> <p>(3)諸室活用(市民参加・体験・交流)事業(通年) 多彩な施設を有する当館の特長を活かし、ワークショップや作品展示等で施設機能のPRを図るとともに、利用促進を促す。</p> <p>(4)ホール活用事業(8月) 子どもたちとその保護者を対象に、舞台の裏側やホール機能を体感できるホール見学会を実施する。またホールを活用した新規事業の実施に向けて調査を継続する。</p> <p>③コピーサービス事業(通年) 施設利用者向けのサービスを継続して実施する。</p>		<p>①は9.劇場・音楽堂等機能強化推進事業に 予算計上 ③は収益事業</p>				
11	泉文化創造センター活性化事業	通年	仙台銀行ホール イズミティ21	6,448	3,853	入場料 2,448 協賛金 900 助成金 500 手数料収入 5
<p>ホール施設等の利用促進に向けた活性化事業。</p> <p>①小ホール企画 イズミノオト(7/7、11/17、3/2、小ホール):仙台市泉区出身の吉岡知広氏(仙台フィルハーモニー管弦楽団首席チェロ奏者)による音楽監修で、作曲家をテーマとしたプログラムによる良質なコンサートを提供する。国内外で活躍する演奏家を招聘し、質の高い演奏をお楽しみいただく。</p> <p>②市民協働によるロビーイベント(年間2日程。12月頃 大ホールホワイエ):ホールの保守点検日を利用し、公演では使用しないホールホワイエを活用してイベントを行う。地元の音楽演奏家等に依頼して広く市民に公開するとともに、様々な芸術ジャンルのプログラムを提供することで幅広い来場者を獲得し会館全体の活性化を図る。</p> <p>③避難訓練コンサート(10月休館日予定 小ホール):より安心安全な施設管理のため、防災訓練の内容を充実させることを目指して行うもの。実際に聴衆が客席にいる状況で、本番中にコンサートを中止するレベルの大地震が起こったという想定で、来場者の避難誘導も含めて避難訓練を行う。職員にとっても、多くの来場者の避難誘導を体験することで通常の防災訓練では体験できない経験の機会になる。</p> <p>④ピアノ弾き込みボランティア運営(通年):ホールに配備されているグランドピアノを常に良好な状態に保つため、定期的に一定の演奏技術を持つ市民ボランティアに依頼して弾き込みを行う。</p> <p>⑤プレイガイド事業(通年):財団主催・共催事業のチケット販売を窓口で行う。また、大・小ホールを利用して実施される催事のチケットについて、依頼があれば預りチケットとして販売する。当館で実施される事業であれば、協議のうえ、無料の入場整理券等の取扱い協力も行う。</p>		<p>⑤は収益事業</p>				
<p>④ミュージアム活性化事業 ミュージアムの新たな魅力や個性づくりに向けた各種体験型事業やグッズ製作等を行い、来館者の増加や満足度の向上を図る。</p>						
12	猿舞座のさるまわし	6/2	榴岡公園 歴史民俗資料館	56	0	参加者:800人
榴岡公園を会場として、山口県岩国市に拠点を置き全国を旅しながら猿まわし興行を行う猿舞座の13回目の公演を4年ぶりに実施する。						
13	れきみん秋祭り2024	10/28、11/3	榴岡公園 歴史民俗資料館	4,185	1,045	助成金 1,000
東北地方に伝わる伝統芸能や職人の技術といった「無形」の民俗文化、芸術文化を榴岡公園と歴史民俗資料館の館内を会場として紹介する。						
14	地域交流促進事業	12月・1月	富沢遺跡保存館	215	0	
<p>施設の森(地下展示・野外展示)の価値の共有や保全への共感を得ることを目的に、地域に根差したイベントを行う。平成30年度より指定管理業務「たのしい地底の森教室」に結び付けて実施しており、これまで参加者から好評を頂いた閉館時間帯の施設・野外展示利用等、指定管理業務では実施が困難な内容を自主財源事業として実施する。「長町学びネット」とともに企画・運営を行い、地域住民の交流の場となるイベントと、「仙台三桜高校音楽部」のコンサートの2回を予定。地域の方々が参加しやすく、かつ地域の人材と組織を生かしたイベントとなるよう企画し、地域活性化に寄与する。</p>						

15	歴史・芸術融合事業 「ミュージアム・シアター“狩人登場！！”」	通年	富沢遺跡保存館他	1,850	0	
市内を中心に演劇等の表現活動をする「劇団 短距離男道ミサイル」の協力を得て、旧石器時代の狩人が登場するイベントを行う。ミュージアム・シアターの手法を導入することによって、考古学の知識や知的興奮に加え、施設の非日常的な空間を生かした特別な体験を提供することを目指す。これまでの活動に加え、学校利用向けや演劇要素の強い演出も試み、事業の可能性を広げていく。狩人の演じ方や衣装に関しては、実験考古学的な手法も使い、旧石器時代の生活について考察を深めるための調査研究や演出等の検討を行う場を設ける。						
16	映像・記録発信事業「地底の森アーカイブス」	通年	富沢遺跡保存館	240	0	
動画配信の需要が高まっていることから、映像ならではの手法を用いて、野外展示「氷河期の森」等の展示や各種事業の記録・発信を行う。また、ワークショップ等を通して、市民協働による映像アーカイブスの蓄積・公開を続けることで、当館が目指す地域に根差したミュージアムとしての機能・役割を強化することを目的とする。当年度も新たな動画を作成し、公開を進める。						
17	学校・地域連携促進事業「縄文まるかじり」	通年	縄文の森広場	202	0	
近隣学校や地域との結びつきを深め、より地域に根差した施設になることを目的とした事業である。平成28年度から継続。当年度は土器片そっくりのクッキーづくりや土器型チョコレートづくり等、楽しみながら縄文文化に触れられるイベントを地域の施設や学校と連携して行う。						
18	展示手法の開発・導入	通年	縄文の森広場	1,180	0	
新たな展示手法の開発と導入を図るための事業として令和2年度から開始した。事業の柱は「リビングヒストリー」と「3次元計測」である。3次元計測では、当年度も引き続き3次元モデルのデータの蓄積を行い、公開を進める。また、その活用方法を開発、実践する。リビングヒストリーでは、実践例の視察を行う。						
19	コミュニティ・アーカイブ・ラボラトリー	通年	メディアテーク	500	0	
市民による草の根的なアーカイブ活動を示す「コミュニティ・アーカイブ」の理念・実践の普及啓発を進めるため、市民や専門家とともに、実践的あるいは研究的視点等、様々な角度で分析、調査研究を行い、その成果を発表する。						
20	smtホスピタリティ向上事業	通年	メディアテーク	300	0	
施設活用の新たな手法とツールの開発、実践として、次世代や親子層の日常的な利用における課題についての調査や、定禅寺通活性化に寄与する取組についての企画・開発を行う。						
21	ミュージアムグッズ開発・販売事業	通年	各ミュージアム他	990	1,295	刊行物販売 1,295
ミュージアム来館者への記念品として、かつ普及の手法として、ブランドの向上や収入確保も目指し、施設の特性や資源を生かしたオリジナルグッズの開発を行う。 ①歴史民俗資料館グッズ：昭和22年復興新仙台地図、昭和27年仙台地図、仙台の商店記載地図（大正14年、昭和4年、昭和8年）、大正15年仙台地図、明治13年宮城県仙台全図、明治17年仙台市街絵入明細全図、仙台城下絵図、昭和26年map of Sendai、昭和3年仙台市要覧（付図）、昭和3年地番入最新仙台市地図の継続販売と、旧歩兵第4連隊兵舎のペーパークラフトの制作販売を行う。（支出197千円、収入300千円） ②富沢遺跡保存館グッズ：氷河期の森で採集できるハンノキの枝やチョウセンゴウの実等で、来館の思い出となるグッズを製作し販売する。また、ボランティア会が製作した編布シリーズや松ぼっくりのリースの販売を継続する。（支出80千円、収入85千円） ③縄文の森広場グッズ：縄文の森広場ボランティアスタッフによるオリジナルグッズの製作と販売。一部は、家庭で出来る縄文体験の役割も担っている。（支出100千円、収入150千円） ④仙台文学館グッズ：前年度までに制作し来館の記念等として人気の高いしおり・クリアファイル等を継続販売するほか、「北根の杜」「フォレストシリーズ」等のグッズを制作し来館者のニーズに応える。（支出550千円、収入560千円） ⑤メディアテークグッズ：ミュージアムショップ等と共同開発してきたオリジナルグッズを継続販売する。（支出63千円、収入200千円）						
<b>⑤劇都仙台2024事業</b> 都市文化を支える芸術としての演劇の総合性と公益性を背景に、仙台市と共催のもと、各種振興事業を以下の体系に基づき実施する。「良質な公演の機会の拡大」、「表現者の発掘・育成」、「活動を始める市民への窓口やネットワークの支援」、「教育や福祉等、他ジャンルとの連携」、「情報交流や協働」。						
22	仙臺能	11/23	日立システムズホール仙台	4,229	4,229	市負担金 2,286 入場料 1,943
「市民能楽講座」から名称変更しての2回目。能と狂言を気軽に鑑賞できる本格的なホール公演として、広く市民に能楽の魅力を伝える。仙台市と仙台市能楽振興協会との共催により実施。 入場者：500人						
23	舞台スタッフ・ラボ	通年	演劇工房10-BOX他	1,074	1,074	市補助金 259 受講料 165 助成金他 650
舞台監督・音響・照明・舞台美術・衣装・小道具部門の基礎コースや、演劇公演のスタッフワークを体験する発展・創作コース等を基本に、外部の組織・団体と連携し、参加者の声を反映しながら総合的な舞台スタッフの育成事業を実施。誰もが舞台芸術や表現の楽しさと奥深さを体験できる機会を提供することで、人材育成と市民活動・舞台芸術活動の活性化を目指す。宮城野区文化センターとの共催により開催。 対象者：50人 観客：100人						

24	10-BOX鑑賞プログラム	通年	演劇工房10-BOX他	500	500	市補助金 500
<p>①仙台・劇のまちトライアルシアター:創作公演を仙台の演劇人と協同で制作し、市民センター等、劇場以外の施設を会場とした公演を開催する。</p> <p>②共催公演:「とうほく学生演劇祭」「ひのき舞台」などと共催し、良質な演劇鑑賞の機会を提供、観客層の拡大につなげ、交流の場を創出する。</p> <p>③10-BOX広報事業:10-BOXを拠点として、仙台圏の演劇情報を集めインターネットや紙媒体等により広く市民に発信するほか、10-BOXのYouTubeチャンネルを通して、演劇や施設の魅力を市民に発信する。</p>						対象者:のべ1,000人
25	せんだい短編戯曲賞	通年	演劇工房10-BOX他	2,992	2,992	市補助金 2,992
平成24年度から実施している「短編戯曲」を対象とする戯曲賞。全国公募により次代の演劇を担う人材を発掘し、冊子発行によって若い世代の作家の作品上演の機会を増やす。平成30年度から作品上演と作品募集をそれぞれ隔年で実施。当年度は第9回の大賞作品選考を行い、最終候補作品(10作程度)を掲載した冊子を制作する。						
26	能-BOX事業	通年	能-BOX	850	850	市補助金 625 受講料 225
能楽施設「能-BOX」を活用し、能楽をはじめ伝統的な日本文化への親しみと理解を深めるため、「こどものための能講座」(能楽師:山中遊晶)、「能のおけいこ体験講座」(仙台市能楽振興協会との共催)、「能-BOXゼミナール」等を行う。また、伝統舞台での表現の可能性を探る現代的なジャンルの催しも含め、利用者の開拓を図る。						対象者:150人
27	地域連携による演劇振興事業	通年	演劇工房10-BOX他	500	0	
<p>①仙台市高等学校演劇祭:教育現場での演劇の次代の担い手を重点支援するため、「仙台市高等学校演劇祭」を宮城県高等学校演劇協議会との共催で実施する。</p> <p>②舞台芸術活動サポート:近隣小学校の文化行事や、卸商センター、市民センター等の地域の文化活動に対して運営アドバイス等の支援を行う。</p> <p>③協力・協働事業:IMS磯貝メソッド仙台塾の音声学ワークショップ「声とことばを学ぶ」や、インディペンデントシアターによる「最強の一人芝居フェス INDEPENDENT」仙台公演等への事業協力を行う。</p>						対象者:400人
28	共通事務	通年	演劇工房10-BOX他	786	286	市補助金 121 刊行物販売 165
ホームページの更新や発送、せんだい短編戯曲賞の冊子印刷・販売、次年度の事業に向けた視察や調査研究等、事業関連活動に必要な業務を行う。						
<b>⑥創造都市推進事業</b>						
仙台市との共催事業。市民が芸術文化に触れる機会を創出することで、魅力と活気あふれる都市づくりを推進する。						
29	地下鉄駅コンサート	9/28, 29, 10/5, 6	地下鉄駅構内	1,113	1,113	市負担金 1,113
仙台クラシックフェスティバル関連事業として、市内及び周辺地域を活動拠点にしている団体等が出演する無料コンサートを、地下鉄仙台駅・旭ヶ丘駅構内で開催する。						
<b>⑦土井晩翠顕彰事業</b>						
30	土井晩翠顕彰事業	通年	-	970	970	市負担金 940 刊行物販売 30
平成29年度末をもって解散した土井晩翠顕彰会の事業を引き継ぎ、詩人・土井晩翠の業績と遺徳を顕彰する事業を行う。具体的には、晩翠わかば賞・あおば賞の募集と賞の贈呈、ならびに毎年10月19日の土井晩翠の命日の頃に記念のイベントを実施するとともに、晩翠草堂の展示品の管理と展示内容の充実に努める。						
<b>⑧育成・普及事業</b>						
子どもたちが芸術文化に触れる機会を広く提供するとともに、アーティスト及び指導者の育成を図る。						
31	芸術家派遣事業	9月～2月	各学校・地域	0	0	
「仙台市文化芸術による子供の育成総合事業実行委員会」が文化庁から業務受託し、小学校・中学校・高校(特別支援学校含む)で子どもたちに文化活動や鑑賞の機会を提供する。当年度は30～40カ所に派遣実施。当財団は実行委員会事務局として、文化庁との調整、実務統括、会計等を行う。実行委員会の予算規模は700万円程度を見込む。						鑑賞者:4,300人
32	子どもの創造性を育むアウトリーチ事業	9月～2月	市内幼稚園、保育園等	6,045	6,045	市負担金 6,045
幼稚園児、保育園児を対象に、文化芸術に触れ創造性を育むことを目的に開催するアウトリーチ事業。市内幼稚園、保育園等を訪問し、35～40公演程度を開催する。						鑑賞者:2,000人
33	東京藝術大学音楽学部早期教育プロジェクト	12/1, 14, 15	日立システムズホール仙台	1,000	0	
仙台及び東北地域における音楽教育の振興のため、東京藝大、仙台市との共催により、平成27年度より継続開催しており、当年度はピアノ、ヴァイオリン、管楽器の3部門を実施する。日本最高レベルの音楽教育に触れることで、地域で音楽に取り組む子どもたちのモチベーション及び技術の向上を図るとともに、地域で音楽教育に取り組む指導者に学びの機会を提供する。また、講師等関係者によるコンサートも開催し、音楽教育・演奏技術への市民の理解を深める。						受講生:50人 入場者:500人

⑨ 出版事業						
事業団の事業成果を出版。仙台発の編集文化の発信にも寄与する。						
34	出版物の販売継続事業	通年	—	14	101	刊行物販売 101
<p>①仙台文学館刊行物販売事業:『仙台本のはなし24人でつくりました』『仙台で夏目漱石を読む』『瀬戸内寂聴 生きることは愛すること』『ユキユキドンドン スズキヘキ詩集』等、仙台文学館ゼミナールの成果品や講義録、また仙台文学館選書として出版したものを、継続販売する。(支出0、収入60)</p> <p>②『仙台戯曲賞シリーズ』販売事業:『仙台戯曲賞シリーズ』01～04を窓口販売のほか、ウェブサイトからの申込みにより継続販売する。(支出8、収入8)</p> <p>③『文化芸術の社会再生力』販売事業:事業団設立20周年記念事業として実施した連続シンポジウム「文化芸術は成熟社会の再生力。」における鼎談と講演録を採録したブックレットを継続販売する。(支出0、収入3)</p> <p>④『RE:プロジェクト記録集』販売事業:平成23年度から27年度まで実施した事業「RE:プロジェクト」の成果物(『RE:プロジェクト通信』5年目のRE:プロジェクト通信)に活動の記録や振り返りを加えて1冊にまとめた本を継続販売する。(支出6、収入30)</p>						

⑩ 広報事業等						
35	広報事業	通年	—	4,840	4,840	市補助金 4,624 その他事業収入 216
<p>仙台における文化芸術領域の動向や、地域で活動する人々を広く市民に広報・紹介するウェブメディア「まちりよく」を運営する。併せて、市民文化事業団ウェブサイトをはじめ、X(旧Twitter)等のSNSも活用しながら、当財団の主催事業や活動、運営施設の情報等の発信を行っていく。</p>						
36	市民文化事業団友の会運営	通年	—	2,266	1,940	友の会会費 1,940
<p>市民の芸術・文化鑑賞機会の維持拡大を図るため、友の会組織の運営を継続する。市民文化事業団通信「市民ぶんかレター」による当財団事業の広報、主催・協力事業における先行及び優待サービスの提供等。当年度よりレター会員(年会費1,800円)・ネット会員(年会費800円)の2区分からなる新制度を開始し、会員の利便性向上を図る。</p>						
37	事業団事業全体にかかる共通事務等	通年	—	6,574	0	
<p>①共通事務:事業全体の調整、新事業の調査・企画、チケット販売業務等を行う。</p> <p>②人材育成事業:財団職員全体の資質向上を目的とした各種研修を実施するほか、個々の職員や施設の専門性に応じた技術・能力や意欲向上を目的とした研修・勉強会等の実施支援を行う。</p>						

## (2) コンクール運営事業

① 仙台国際音楽コンクール事業						
令和7年に開催する第9回仙台国際音楽コンクールの準備を進める。						
38	事務局運営	通年	日立システムズホール仙台	16,757	16,757	市負担金 16,757
コンクール事務局の運営を行う。						
39	委員会運営	通年	日立システムズホール仙台他	1,909	1,909	市負担金 1,909
組織委員会、運営委員会、企画推進委員会を開催する。						
40	コンクール事業	通年	日立システムズホール仙台	14,658	14,658	市負担金 10,608 その他収入 4,050
動画データ等による予備審査を行い、第9回コンクール出場者を決定し、令和7年2月に発表する。						
41	広報事業	通年	日立システムズホール仙台	15,443	15,443	市負担金 15,443
公式ホームページやSNS、ニュースレター、プレスリリース等により、第9回コンクール出場者募集広報を展開するとともに、開催告知広報として市内中心市街地、地下鉄駅への広告物の掲出等により、市民の認知度を高め、鑑賞者の拡大に努める。						
42	ボランティア事業	通年	日立システムズホール仙台	1,850	1,850	市負担金 1,850
<p>第9回コンクール期間中の活動に向けた準備や研修等を行うボランティア活動の事務局業務を行う。</p> <p>①ボランティア新規募集及び活動説明会</p> <p>②会場運営サポート:コンクール関連事業等の会場運営、研修会</p> <p>③広報宣伝サポート:ボランティアニュース「コンチェルト」発行、「MAP for SIMC Contestants」(仙台のガイドブック)作成、ボランティアブログ運営等</p> <p>④出場者サポート:コンクール期間中活動の企画、勉強会等</p> <p>⑤ホームステイ受入れ:受入れ勉強会、意見交換会等</p> <p>⑥ボランティア・プロジェクトチーム:第8回コンクール入賞者によるイベントの企画運営</p>						
43	第8回仙台国際音楽コンクール 優勝者副賞コンサート	通年	日立システムズホール仙台、 国内各地	12,759	7,059	市負担金 4,862 入場料等 2,197
第8回コンクール優勝者の副賞として、仙台フィルハーモニー管弦楽団や国内オーケストラとの共演の機会を提供する。また、令和6年度及び7年度に実施する副賞の準備を行う。						

44	仙台国際音楽コンクール関連事業	通年	仙台市内各所	6,855	6,855	市負担金 6,855
<p>仙台の音楽文化振興を目的に、第9回コンクールのPR及びクラシック音楽鑑賞の普及を目的に下記事業を展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第8回コンクール入賞者と仙台市内の市民オーケストラとの共演 デニス・ガサノフ(ヴァイオリン部門第2位)出演/仙台市民交響楽団定期演奏会(6/16)</li> <li>・第8回コンクール入賞者による小・中学校訪問コンサート デニス・ガサノフ(ヴァイオリン部門第2位:6/11, 12)、ヨナス・アウミラー(ピアノ部門第2位:7/2, 3)</li> <li>・第9回コンクールのPRを目的としたコンサート 堀米 ゆず子(ヴァイオリン部門審査委員長)出演(11/2)</li> <li>・オーディションで選ばれた仙台ゆかりの若い音楽家と仙台フィルメンバーによる弦楽五重奏が共演する街かどコンサート「はばたけコンチェルト」(1/26、2/23、3/16)</li> </ul>						

### (3)ジュニアオーケストラ運営事業

45	仙台ジュニアオーケストラ運営	通年	日立システムズホール仙台	23,959	23,959	市負担金 15,408 受講料等 8,551
<ul style="list-style-type: none"> <li>・仙台ジュニアオーケストラを仙台市と共同で主管する。</li> <li>・通年の練習等の指導は、仙台フィルハーモニー管弦楽団に委託する。</li> <li>・8月に夏期合宿を実施する。</li> <li>・10月に「定期演奏会」を開催する。</li> <li>・3月に「スプリングコンサート」を開催する。</li> </ul>						団員定員:122人

### (4)演劇系練習施設運営事業

46	せんだい演劇工房10-BOX運営	通年	演劇工房10-BOX 能-BOX	35,568	32,568	市補助金 27,581 使用料等 4,987	
<p>「試しながらじっくり演劇を作る空間」をコンセプトに、仙台における演劇及びその周辺の表現活動を支援していく。加えて、「劇都仙台」各事業との一体的な運営によって、市民の文化芸術活動を支えていく。また、民間より仙台市に寄贈を受けた能舞台を仙台卸商センターの倉庫に移築した、別館「能-BOX」の運営を行う。</p>							収益事業を含む

### (5)震災メモリアル交流施設運営事業

47	せんだい3.11メモリアル交流館運営	通年	3.11メモリアル交流館	64,550	64,550	市受託料 64,500 受講料 50
<p>仙台市震災復興メモリアルの沿岸部拠点として、平成28年2月に地下鉄東西線荒井駅舎内に開館した「せんだい3.11メモリアル交流館」の運営(①来館者の対応 ②事業の実施 ③管理業務の一部)を、仙台市まちづくり政策局からの委託事業として行う。「震災の被害や状況を知り、その経験や教訓を学ぶ場」「東部沿岸地域の記憶を残し、継続的に地域再生への力を形成していく場」「東部沿岸地域への案内所・発着点」としての施設機能を持ち、様々な来館者・市民・住民の集う親しみやすい運営に努める。上記のような施設機能を実現するため、下記の事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展(年3回程度)</li> <li>・震災復興メモリアルや地域の魅力発信にかかるワークショップ・講座等</li> <li>・館の運営に資する情報の収集</li> <li>・紙媒体、ホームページ等による情報発信(企画展やイベントの実施報告含む)</li> </ul>						

### (6)芸術文化受託事業

48	市制施行135周年記念コンサート	7/1	仙台銀行ホール イズミティ21	4,400	4,400	市受託料 4,400
<p>仙台市の市制施行記念式典の一環として開催する仙台フィルハーモニー管弦楽団の演奏会。ソリストには第8回仙台国際音楽コンクールピアノ部門第2位のヨナス・アウミラーを迎えて開催する。</p>						入場者:1,250人

## 2.定款第4条第2号の事業(文化芸術等に関する普及啓発及び情報発信)

番号	事業名	期日	会場	支出	収入	収入備考
		事業内容				入場者数等見込・備考

(単位:千円)

### (1)仙台文学館普及啓発事業

49	特別展・企画展の関連事業	各展示の 開催時期	仙台文学館	482	482	市補助金 35 その他 447
<p>特別展・企画展の会期中に、展示テーマに関連する様々なイベントを開催し、文学のより深い魅力を伝えていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①特別展「詩人・石川善助をたずねて」関連:朗読と音楽の調べ等を開催。</li> <li>②「夏休み子ども文学館 えほんのひろば 長野ヒデ子」関連:トークイベントやワークショップ等を開催。</li> <li>③特別展「文豪、仙台二立子寄ル。」関連:街歩き講座等を開催。</li> <li>④企画展「大沼英樹写真展」関連:講演会等を開催。</li> </ul>						
50	ことばの祭典ー 短歌・俳句・川柳への誘い	6/22	仙台文学館	470	470	市補助金 470
<p>昨年同様、コロナ前の形式に戻して、合同吟行会で開催。昨年は感染症対策のため、参加者の人数制限を行ったが、今年はいわず、申込不要に戻して開催。</p>						
51	文学講座、講演会等の開催	通年	仙台文学館	2,602	2,602	市補助金 200 受講料 2,380 その他 22
<p>文学を豊かに味わう、深く学ぶ、自ら表現するといった主体的なニーズに応え、幅広いテーマによる講座を開講。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①佐伯一麦エッセイ講座:館長の作家・佐伯一麦によるエッセイの鑑賞と実作指導の連続講座。通年で7回の開催を予定。</li> <li>②佐伯一麦 北根ダイアログ:館長の佐伯一麦と各分野で活躍するゲストとの対談。</li> <li>③仙台文学館ゼミナール:近代文学を読み解くコース、現代文学を探究するコース、日本の古典に親しむコース、表現をみがくコースで、各講座それぞれ3~5回連続で開催する。</li> </ul>						

52	教育機関・関係者との連携事業	通年	仙台文学館	0	0	
県内高等学校の文芸部の活動を支援するほか、図書室や国語を担当する教員への研修機会の提供、小中高を通しての調べ学習への協力等を随時行っていく。また団体利用向けに、常設展示にからめた内容のワークシートの作成を行う。						
53	学芸員出前講座	通年	—	0	0	
市内を中心に近隣の学校や市民センター等に学芸員が出向き、宮城の文学やこれまでの企画展で取り上げた文学者についての講座を行う。						
54	情報誌の発行	通年	—	1,160	1,160	市補助金 1,160
文学に関する話題を幅広く発信していく情報誌「仙台文学館ニュース」の発行を継続する。文学者からの寄稿のほか、仙台の新しい文学を取り上げた企画等内容の充実を図る。						
55	こどもの本の部屋の運営	通年	仙台文学館	0	0	
コロナのために閉室していたが、令和5年6月に再開。文学館の展示観覧は難しい小さな子どもたちも、保護者とともに絵本を楽しめるように、季節や行事ごとに絵本の入れ替え等を行い活性化を図っていく。						
56	文学館友の会の支援	通年	—	0	0	
会の事務局を担当し、文学館との共催事業や見学会の開催、会報の発行等を実施する。						
57	出版物等の販売	通年	—	613	613	市補助金 299 刊行物販売 314
佐伯一麦エッセイ実作鑑賞講座、小池光短歌講座の記録集を制作・販売する。また、平成16年度に発行した文学館選書『天地有情』のほか、企画展関連の物品も館内で継続して販売する。						

### 3.定款第4条第5号の事業（文化芸術等に関する生涯学習の支援）

番号	事業名	期日	会場	支出	収入	収入備考
事業内容						入場者数等見込・備考
（単位：千円）						

#### (1) せんだいメディアテーク 展覧会等総合事業

58	せんだい・アート・ノード・プロジェクト	通年	メディアテーク	20,000	20,000	市補助金 20,000
優れた現代アートのもつ発見性、吸引力、発信力を取り込みながら、市民とともに地域が抱える課題に向き合うアートプロジェクトを展開することで、まちの魅力と人々の活気を引き出し、文化都市仙台を発信する。「川俣正/仙台インプログレス」等の事業とこれらに伴う情報発信やアーカイブを行う。						
59	展覧会事業	通年	メディアテーク	18,500	18,500	市補助金 7,000 入場料 1,000 助成金 10,500
「椎名勇仁 可塑圏：ねん土的思考」展（仮称）は、仙台にゆかりの美術作家、椎名勇仁（しいなたけひと）の活動を紹介する個展。1990年代末から制作を始めた椎名は、粘土の可塑性の性質に注目し、仙台を拠点としながら、塑造を中心とした多様な表現活動を続けてきた。火山の熱で素焼きする代表的なシリーズ「火山焼」は、地球規模のエネルギーや時間の流れという大きなスケールと、現代の日常感覚が交錯して生み出されている。椎名は、単なる造形表現に留まらず「火山焼」のように、プロジェクト形式で制作を継続してきた。この展覧会では、最初期の作品から現在制作中の最新シリーズまで余すところなく紹介し、椎名の好奇心に根差した創造的でユニークな思考を伝える。						
60	メディアスタディーズ	通年	メディアテーク	3,000	3,000	市補助金 1,500 助成金 1,500
市民間の交流、対話を促進するための対話の場／機会／メディアを用意する。 ＜スタジオ情報発信＞ 市民力を醸成し、市民の主体的な社会参画を文化面から活性化していくことを目指して、様々な市民文化活動と協働する。 ＜地域文化アーカイブ＞ 市民による自発的な地域文化財のデジタル化により、保存、活用を促す事業を実施する。成果物は、メディアテークに保管され、ライブラリーへの配架やウェブサイト等での発信等により、広く市民に活用される財産とする。また、それらをもとにした小規模な展示を行うことで、仙台市域の様々な文化活動へのより広く深い市民の関心を促す。						
61	発信・施設活用推進	通年	メディアテーク	4,980	4,980	市補助金 4,580 刊行物等販売 400
各種団体との連携を通じ地域における役割を担うとともに、市民図書館を含めたメディアテークの総合的な情報アクセス機能の活性を促し、常に時勢に応じた魅力あるメディアテークを展開していく。 ① <b>バリアフリー・デザイン事業</b> ：目や耳の不自由な方の情報アクセス支援として手話通訳・要約筆記つきの事業や、託児つき事業を行う。 ② <b>館長発信事業</b> ：発信力のある鷺田清一館長を軸に、著名なゲストとのトークの開催を通じ、市民のニーズをつかみつつ、メディアテーク全体の新しい姿を示していく。併せて、館長の動向を伝える情報発信等も行い、より広い理解へと努める。 ③ <b>地域文化連携・施設活用推進</b> ：各種団体との協働や連携・ネットワークを用い、地域におけるメディアテークの役割を担いつつ、オープンスクエア、ギャラリー、シアター、ライブラリー等館全体の機能を活かしたイベントや展示、上映会等多様な活用事例を示していく。さらに、市民図書館とのイベント等の各種連携を通じ、より広い関心を集め、交流を促進する機会をつくる。 また、取り組みが広く市民に届くよう定期的な広報、啓発、情報発信に努めるとともに、次年度事業にまつわる調査を通じ、時勢に敏感に応じた事業企画に取り組んでいく。						

62	アーティストリサーチ	通年	メディアテーク	500	500	市補助金 500
令和7年度の展覧会へ向けて、アーティストを招聘、有識者、市民とともに、調査を開始する。						
63	こどもわかものプロジェクト	通年	メディアテーク	1,075	1,075	市補助金 1,075
通年、メディアテークで実施している「てつがくカフェ」を発展させ、保護者と未就学児がともに参加する「親子てつがくカフェ」を実施する。また、小学校の施設見学ツールを新規に開発するほか、こどもたちが自ら企画運営する「遊びのまち」を西公園等を舞台に開催することを目指し、調査・企画検討を行う。						
64	コミュニティ・アーカイブの仙台モデル事業	通年	メディアテーク	724	724	市補助金 724
地域の風景や文化等を記録した写真・映像等のメディア資料の整理・活用や現在進行形の記録行為を市民自らの参画により進める「コミュニティ・アーカイブ」を活性化する取り組み。商用的な利用も含めより広く活用可能な状態となるよう、デジタル保存環境や今日的な著作権処理について調査・整備を進めるほか、市民が参画する「コミュニティ・アーカイブ」の活動促進に向け、課題共有、ネットワークの機会づくりに取り組む。						
65	資源循環の杜へ せんだいリポート2024	通年	メディアテーク	2,400	2,400	市負担金 2,400
市民・企業・行政の連携により培ってきた資源循環の取り組みを発展的に継承するシリーズ「せんだいリポート」を仙台市環境局とせんだいメディアテークとの共催で、令和5年度に始動。2年目を迎え、資源循環に関わる方法を模索する市民や実践者を交えた事業を実施、新たな活動の顕在化・交流によって、取り組みが連鎖する状況を生み出していく。						

4.定款第4条第1号、第2号、第3号、第4号、第5号及び第6号の事業（市民の文化芸術及び郷土の歴史に関する活動等の支援及び育成、普及啓発及び情報発信、交流及び協働の促進、資料の収集、保管及び調査研究、生涯学習の支援、文化施設及び生涯学習施設の管理運営）

番号	事業名	期日	会場	支出	収入	収入備考
事業内容						入場者数等見込・備考 (単位:千円)

(1) 歴史民俗資料館 管理運営・調査研究・普及啓発事業

①管理運営						
66	歴史民俗資料館 管理運営	通年	歴史民俗資料館	64,320	64,320	市指定管理料 64,320
歴史や民俗に関する展示等を行い、学校教育や生涯学習活動を支援する場所として、宮城県指定有形文化財である本館建物の維持管理を行う。						
②展示事業						
67	歴史民俗資料館 常設展示	通年	歴史民俗資料館	211	211	市指定管理料 211
「仙台地方の農具と農家の暮らし」「仙台 町場の暮らし」「旧歩兵第四連隊コーナー」「体験学習室」に加え、「花見」「仙台の正月」等のミニ展示をロビー及び展示室で展示紹介する。また、震災関連展示を行う。						
68	企画展「戦争と庶民の暮らし」	4/27～7/7	歴史民俗資料館	239	239	市指定管理料 239
仙台地方を中心に近代の戦争と庶民のかかわりについて考える。具体的には「軍都仙台」の成立、仙台と西南戦争、日清戦争、日露戦争、第一次世界大戦、満洲事変、日中戦争、第2次世界大戦、戦時下の暮らし、米軍占領下等に関する実物資料を展示紹介し、戦前・戦中・戦後の移り変わりを振り返る。						
69	企画展「通信網の発達と市民の暮らし」(仮称)	7/20～11/10	歴史民俗資料館	904	904	市指定管理料 904
明治時代に入ると郵便制度や新聞、絵はがき、電信、電話が登場し、大正時代末から昭和時代にはラジオやテレビ、さらには平成時代にはインターネットや携帯電話が普及した。展示では通信網の発達に伴い、人々のつながり方や暮らしがどのように変化していったかを紹介する。						
70	特別展「石橋幸作と仙台駄菓子」(仮称)	11/23～4/13	歴史民俗資料館	1,724	1,724	市指定管理料 1,724
「仙台駄菓子」という言葉は戦前から各地の駄菓子を調査し続けた「石橋屋」を営む石橋幸作の研究成果によって生み出されたもので、展示では駄菓子研究に心血を注ぎ後世に様々な研究成果を残した石橋幸作の業績について、令和5年に閉店した「石橋屋」から寄贈された資料を元にしながら紹介し、仙台地方の食文化の一端である「仙台駄菓子」について考える。						

③普及啓発事業						
71	講座・体験イベント等	通年	歴史民俗資料館	133	133	市指定管理料 133
<p>①資料館サポーター養成講座(7月～3月):「資料館の魅力について～展示・収集・調査研究・教育普及～」のタイトルで、資料館の事業活動や資料の活用方法を考えながら、民俗文化財や歴史資料の意義をとらえ、参加者の様々な活動につながっていくことを目指す。</p> <p>②子ども講座(7月、1月、3月):主に小学生を対象に、仙台地方の歴史や民俗をわかりやすく解説するために紙しばいの講座を開催する。</p> <p>③ゴールデンウィーク「おもしろ昔たいけん」(4/29～5/5の間の6日間):なつかしい玩具「竹とんぼ、水鉄砲」、こままわし、フラフープ、ホッピング等の遊びや生活用具「石臼ひき」を体験する。</p> <p>④クイズラリー(夏休み・冬休み):クイズやパズル形式での自主見学学習。</p> <p>⑤たんけん資料館「れきみんバックヤード・ツアー」(8月、10月、2月):展示室、収蔵庫や資料整理室等普段見ることができない資料館のバックヤードを学芸員が解説案内する見学会を開催する。</p> <p>⑥ホームムービーの日(10/19):家庭に埋もれているフィルムを持ち寄り、地域の貴重な映像を発掘し、公開する。</p>						
72	資料館だより等の発行(その他の事業)	通年	歴史民俗資料館	0	0	
1年間の資料館での事業やイベント等についてまとめた「資料館だより」をウェブサイトで公開するほか、資料館の講座や体験学習等について近隣の学校や関連施設に周知する。						
73	学校教育との連携	通年	歴史民俗資料館	0	0	
学校教育との連携促進を目的として実施する事業。小学校3年生社会科の学習及び総合的な学習の際、年間50校を超える市内外の学校が見学を訪れ、石臼ひき等を体験をする。8月には、学芸員資格を目指す大学生の単位取得のために必要な実務実習を受け入れ、11月には、市内中学校より職場体験の生徒の受け入れを実施する。						

④資料の収集・保管及び調査研究事業						
74	歴史民俗資料の収集・保管	通年	歴史民俗資料館	1,422	1,422	市指定管理料 1,422
常設展示や企画展示に関連した、仙台地方の歴史と庶民の暮らしの様子を示す資料を収集し、迅速に適切な整理を行い、館内及び館外の収蔵庫に保管する。また、台帳のデジタル化等を進め、より容易な検索を可能にする。						
75	調査報告書等の発行	通年	歴史民俗資料館	1,094	1,094	市指定管理料 1,094
仙台地域を中心に民俗(民間伝承)、近現代の庶民生活に係る「聞き書き」等の調査を実施し、「調査報告書」にまとめ、刊行する。また館蔵資料の公開、活用のため「資料集」を編集・刊行する。						

## (2)富沢遺跡保存館 管理運営・調査研究・普及啓発事業

①管理運営						
76	富沢遺跡保存館 管理運営	通年	富沢遺跡保存館	105,267	105,267	市指定管理料 105,267
旧石器時代に関連する展示等の事業を実施し、学校教育活動や生涯学習活動を支援する場として、富沢遺跡保存館を維持管理する。						
②展示事業						
77	富沢遺跡保存館 常設展示	通年	富沢遺跡保存館	12,384	12,384	市指定管理料 12,384
地下1階の富沢遺跡の発掘調査面の展示、1階での調査結果の展示、及び「氷河期の森」(植生復元)の野外展示を総合的に行う。						
78	第106回企画展「く仙台の文化財めぐり 霊屋下セコイヤ類化石林」うもれぎ、多様性。」	4/26～7/21	富沢遺跡保存館	199	199	市指定管理料 199
発掘調査の成果をもとに仙台市内の遺跡を紹介し、身近な地域の歴史や文化財を知るきっかけとする企画展。今回は、仙台市指定天然記念物「霊屋下セコイヤ類化石林」と珪化木や、仙台の工芸品である埋もれ木細工、富沢遺跡をはじめとする埋没林出土遺跡等を紹介する。						
79	第107回企画展「過去の風景を探る」(仮称)	9/6～11/17	富沢遺跡保存館	249	249	市指定管理料 249
過去の風景との中で営まれた人々の暮らしを示す、宮城県内の遺跡出土資料や写真資料等を多様な視点から紹介する。						
80	特別企画展(第108回)「氷期の考古学」(仮称)	1/10～3/2	富沢遺跡保存館	2,198	2,198	市指定管理料 2,198
氷期のなかでの日本列島の環境を紹介しながら、その時代に暮らした人々を紹介する。人の暮らしについては、主に東北地方・関東地方の出土資料を中心に展開する。						
81	第109回企画展(令和7年度)ポスター・チラシの印刷	通年	富沢遺跡保存館	140	140	市指定管理料 140
令和7年度開催の第109回企画展のポスター・チラシを作成する。						

③普及啓発事業						
82	講座・体験イベント・ボランティア事業等	通年	富沢遺跡保存館	1,266	1,266	市指定管理料 1,266
<p>①地底の森フェスタ2024(10/13):屋外を会場とし自由参加の形態で開催する。石器を作る、石器を使う、火起こしをする、槍を投げる等の体験活動を行う。ボランティア会とともに企画実施。</p> <p>②考古学講座(2/9、3/8):考古学や環境に関するテーマについて多方面から様々な視点で最新の成果を紹介する、一般市民を対象とした講座。</p> <p>③たのしい地底の森教室(通年):石器づくりや使用等の旧石器時代の生活体験、保存処理、野外展示観察、企画展に関する内容等、施設の魅力を多様な観点から紹介する体験型事業として実施する。月1回程度、土・日・祝に実施。</p> <p>④利用学習事業(6月～3月):小・中学校(小学校5・6年生及び中学校1年生)を対象に、主に社会科学習の一環として施設を効果的に活用する利用学習授業を実施する。授業内容は館内外の見学と石器づくり等の体験学習。実施後、実践内容はウェブサイトで公開し、次年度の活動に生かしていく。なお、事業実施にあたっては参加校募集の段階から分館・縄文の森広場の同事業と連携して行う。</p> <p>⑤市民文化財研究員育成(通年):考古学に対する市民の学習活動を支援するため、公募による5名を対象に、1年間にわたり隔週1回学芸員が支援する活動日を設ける。各人の活動成果はまとめ、公開する。</p> <p>⑥ボランティア育成(通年):市民文化財研究員修了生の中の希望者及び公募による申込希望者に、展示解説や行事の際の業務補助等を行うボランティア育成を目的として、養成講座・研修会・自主研修活動の支援を行う。</p> <p>⑦地域や大学との連携:地域のイベントである太白区民まつりに企画したり、学生サポーター事業を行う等、地域や大学との連携を強化する。</p> <p>⑧富沢ゼミ:富沢遺跡周辺を中心に、仙台市内や宮城県内の遺跡や文化財等を紹介する講座。</p>						
83	運営懇談会	通年	富沢遺跡保存館	0	0	
富沢遺跡保存館の運営に理解と協力を得るために事業を紹介したり、館の運営や事業に生かすことを目的に意見やニーズの聴取を行ったりするための場を設ける。近隣の町内会・小中学校・商業施設・市民センター等を対象に、懇談会や聞き取り調査を行い、学校や地域との連携事業を進めていくきっかけとする。						
④資料の収集・保管及び調査研究事業						
84	資料の収集・保管	通年	富沢遺跡保存館	0	0	
仙台市教育委員会で所蔵している旧石器時代に関する資料等を借用・保管し、適切な管理を行い館の活動に活用する。						
85	遺構の各種分析調査	通年	富沢遺跡保存館	353	353	市指定管理料 353
保存公開している遺跡の現状を定量的に把握することを目的とし、各種分析調査を行う。併せて保存処理検討会を開催する。						
86	野外展示の維持管理と関連調査	通年	富沢遺跡保存館	261	261	市指定管理料 261
野外展示「氷河期の森」を適切に維持管理するための調査等を行う。併せて植生検討会を開催する。						
87	研究報告の刊行	通年	富沢遺跡保存館	180	180	市指定管理料 180
富沢遺跡保存館(地底の森ミュージアム・縄文の森広場)の職員・ボランティア等による調査研究活動や研修の成果を研究報告としてまとめ、今後の施設運営に役立てる。						
88	次年度事業準備・その他	通年	富沢遺跡保存館	385	385	市指定管理料 385
令和7年度の特別企画展に向けた資料調査や出展交渉、及びその他の企画展・体験教室等についての資料調査等を行う。また施設長寿命化改修工事及び常設展示リニューアルに向けて、遺跡研究及び展示法に関する研究会を開催するほか、展示内容や手法を検討するための調査等を行う。						

### (3)縄文の森広場管理運営・調査研究・普及啓発事業

①管理運営						
89	縄文の森広場 管理運営	通年	縄文の森広場	53,057	53,057	市指定管理料 53,057
縄文時代に関連する体験活動や展示等の事業を実施し、学校教育活動や生涯学習を支援する場として、縄文の森広場を維持管理する。						
②展示事業						
90	縄文の森広場 常設展示	通年	縄文の森広場	16,472	16,472	市指定管理料 16,472
施設内展示及び野外展示を適正な状態に保つ。特に、野外展示の復元住居や植栽は、縄文時代の雰囲気伝える重要な展示品として、適切な維持管理や環境整備を行う。						
91	コーナー展示	通年	縄文の森広場	65	65	市指定管理料 65
宮城県内を含む東北地方の縄文時代の遺跡から発見された遺構と遺物を通して、縄文時代の人々の暮らしについて紹介する。 ①「東北の縄文遺跡-仙台市太白区上野遺跡-」(3/19～6/11) ②「東北の縄文遺跡」(8/1～10/20) ③「東北の縄文遺跡」(12/1～2/11) ④「東北の縄文遺跡」(3/19～)						

③普及啓発事業						
92	縄文まつり	5/12、10/20	縄文の森広場	543	543	市指定管理料 543
春と秋の計2回開催する自由参加イベント。その日だけの体験コーナーや音楽演奏等を実施する。また、野外コンサートを不定期で開催する。						
93	普及啓発事業	通年	縄文の森広場	1,520	1,520	市指定管理料 1,520
①団体予約：子ども会、町内会等の各種団体対象の展示解説や縄文体験。 ②随時体験：来館者を対象とし、様々な縄文体験メニューを提供する。 ③体験講座：「週末体験講座」「夏休み子ども考古学教室」「発掘調査体験教室」等、各種体験教室。 ④特別イベント：春・夏・秋・冬の学校の長期休業期間にあわせた、誰でも楽しめる体験イベント等。						
94	縄文の森講座	12月～2月	縄文の森広場	88	88	市指定管理料 88
縄文時代研究について各分野の第一人者による講演会。毎回公募会場50名・オンライン80名を対象とする。 ①「縄文最新研究 最前線①」(12/8) ②「縄文最新研究 最前線②」(1/26) ③「縄文最新研究 最前線③」(2/23)						
95	ボランティア育成事業	通年	縄文の森広場	338	338	市指定管理料 338
当館でのボランティア活動を新たに希望される方の養成と、既にボランティアとして登録されている方のスキルアップを兼ねて行う。各種体験活動の補助、展示についてのより分かりやすい説明等のための研修事業。						
96	学校教育との連携	8月、 10月～12月	縄文の森広場	5	5	市指定管理料 5
学校教育との連携促進を目的として実施する事業。8月には、市内小・中学校の教職員を対象とした、当館の概要説明や体験活動事業を周知するための施設利用研修を実施。10月には、学芸員資格取得を目指す大学生が、必要単位を取得するために必要な博物館実務実習の受入れを実施。10月～12月には、近隣中学校より職場体験の生徒を受け入れる。						
97	利用学習事業	通年	縄文の森広場	2,465	2,465	市指定管理料 2,465
小・中学校(小学校5・6年生及び中学校1年生)を対象に、主に社会科学習の一環として当館を効果的に活用する利用学習を実施する。当館利用推進を目的として、授業の実践校に交通費の補助を行い、学校側との綿密な連携のもとに、館内外の見学や各種の体験学習を行う。なお、事業実施にあたっては参加校募集の段階から本館・地底の森ミュージアムの同事業と連携して行う。当年度の応募校は30校程度の見込み。						
98	運営懇談会	通年	縄文の森広場	1	1	市指定管理料 1
縄文の森広場利用者や地域の方々等に出席いただき、当館の活動を紹介し理解を得ること、またその意見やニーズを把握し、当館の運営に役立てることを目的とする。また、地域と連携した今後の事業を模索する場とする。						
99	野外展示「縄文の森」の多目的活用「森でみつける『じょうもん』」	通年	縄文の森広場 太白山自然観察の森 太白小学校	79	79	市指定管理料 79
野外展示「縄文の森」の利活用の幅を広げるために、近隣住民・小学校・地域の団体等と連携を図りながら、専門家の指導を受けて植生環境の充実を図る事業。太白小学校1年生を対象として、生育するクリ等を採用し育てる事業を行ってきた。当年度も、縄文時代に利用された植物を観察する事業を継続して行う。						
④資料の収集・保管及び調査研究事業						
100	体験活動メニューの調査研究	通年	縄文の森広場	45	45	市指定管理料 45
各種研究成果や実験考古学の成果を生かして、新たな縄文体験メニューやイベントの企画・開発、学校教育との連携事業の推進に取り組む。						
101	復元住居の経年変化及び維持管理に関する研究調査	通年	縄文の森広場	0	0	
公開している復元住居の経年変化を把握し、当時の生活実態に合わせた効果的な維持管理の方法を研究する。復元住居の現状確認と今後の維持管理法の方向性を検討する。また、土葺き堅穴住居の上屋構造に関する調査等を行う。						
102	ボランティアスタッフとの共同調査研究	通年	縄文の森広場	0	0	
当館が実施している各種事業の内容深化、あるいは新規イベントの開発を目的として、ボランティアスタッフと共同で調査研究活動を実施する。						
103	次年度コーナー展資料調査	通年	縄文の森広場	55	55	市指定管理料 55
令和7年度に予定している、展示の内容及び展示と連動した体験活動を検討するために、資料調査を実施する。						
104	資料の収集・保管事業	通年	縄文の森広場	0	0	
仙台市で所蔵している山田上ノ台遺跡及び縄文時代に関する資料を借用保管し、適切な管理を行う。また、事業活動の充実を図るため、関連する図書資料等の収集を行う。						

(4) 仙台文学館管理運営・調査研究・普及啓発事業

①管理運営						
105	仙台文学館 管理運営	通年	仙台文学館	192,072	192,072	市指定管理料 192,072
文学に関する展示等を実施するとともに、文学活動の場や資料の提供を行い、学校教育活動や生涯学習活動を支援することを目的に、入館者の利便に供する施設の管理運営を行う。						収益事業を含む
②展示事業						
106	仙台文学館 常設展示	通年	仙台文学館	0	0	
明治から現代の仙台・宮城ゆかりの文学をテーマを設けて紹介する。資料収集の状況に応じて展示替えを行い新しい情報の提供を行う。						
107	仙台文学館開館25周年記念特別展「詩人・石川善助をたずねて～北方への道のり」	4/27～6/30	仙台文学館	2,560	2,560	市指定管理料 2,560
開館25周年記念の特別展は、仙台の詩人・石川善助を取り上げる。明治40年に仙台の国分町に生まれた善助は、仙台商業学校在学中から詩作に目覚め、友人と詩誌を刊行、『日本詩人』をはじめとする中央の詩誌に作品を発表していたが、不慮の事故により32歳で亡くなった。宮城出身の詩人として、尾形龜之助と並び称されてきた善助だが、生前に一冊の詩集を出すことも叶わず、これまでその創作活動の全容はあまり知られてこなかった。本展では、当館が収蔵した石川善助関係の資料の全貌を紹介するとともに、日本近代詩史における善助の位置づけを明らかにし、その詩の魅力を探る。また、草野心平や宮沢賢治、仙台のスズキヘキや天江富弥等をはじめとする様々な人々との交友も紹介する。						
108	夏休み子ども文学館えほんのひろば「せとうちたいごさんにあいたーい！ 長野ヒデ子 絵本と紙芝居」	7/20～9/8	仙台文学館	3,324	3,324	市指定管理料 3,324
夏休み恒例企画の子ども文学館えほんのひろば。当年度は、絵本・紙芝居作家の長野ヒデ子の原画展を開催。『おかあさんがおかあさんになった日』『せとうちたいごさん』シリーズ、『まんまん ぱっ』『おせんべやけた！』『おつきさまひとつづつ』等、代表作の原画を中心に作品の数々を紹介する。会期中には、読み聞かせ・影絵等の「お話を」を開催するとともに、絵本や児童書が自由に読める「絵本の部屋」を開設し、子どもたちがことばや文学に触れる場を提供する。						
109	特別展「文豪、仙台ニ立チ寄ル」	10/5～12/15	仙台文学館	4,290	4,290	市指定管理料 4,290
近代以前から多くの人が行き交う場所だった仙台には、後に文壇で活躍した文学者たちが学業や仕事等で訪れていた。本展では、島崎藤村、岩野泡鳴、正岡子規、高浜虚子、河東碧梧桐、宮沢賢治、太宰治を取り上げ、彼らと仙台とのかかわりや、交流のあった宮城の文学者を紹介する。今回はこれまで文学館に訪れたことのない若い世代に興味をもってもらえるよう、文学を題材にした人気ゲーム「文豪とアルケミスト」とコラボレーションし、キャラクターパネルの設置、コラボグッズの販売等を行う。						
110	「大沼英樹写真展」	1/25～3/23	仙台文学館	1,680	1,680	市指定管理料 1,680
仙台市在住の写真家・大沼英樹は、全国の桜、そこに生活する人々の姿を14年間撮り続けている。東日本大震災では、被害に遭い傷つきながらも懸命に咲く桜を記録した『それでも咲いていた千年桜』を出版し、大きな反響を呼んだ。本展では、それらの写真を紹介するとともに、そこに息づく人々の暮らしの様子や思いを綴ったことばと一緒に紹介する。						
111	新春ロビー展「100万人の年賀状展」	1/12～2/11	仙台文学館	213	213	市指定管理料 213
文学館あての年賀状を広く一般から募集する。またゆかりの文学者から寄せられた年賀状等も展示する。						
112	次年度事業準備・その他	通年	仙台文学館	1,390	1,390	市指定管理料 1,390
令和7年春の特別展の準備を進める。						
③資料の収集・保管及び調査研究事業						
113	資料の収集・保管	通年	仙台文学館	3,607	3,607	市指定管理料 3,607
宮城・仙台ゆかりの文学者・文学作品に関する資料の収集を行う。収蔵した資料の適切な整理とコンピュータを活用した資料管理を行う。また、必要に応じて資料の修復や複製の制作を行う。						

5.定款第4条第6号の事業(文化施設及び生涯学習施設の管理運営)

番号	事業名	期日	会場	支出	収入	収入備考
	事業内容					備考

(単位:千円)

(1)青年文化センター管理運営事業

114	青年文化センター管理運営	通年	日立システムズホール仙台	355,997	355,997	市指定管理料 355,997
<p>令和4年度から5年間の指定管理を受け、その3年目となる当年度は次のとおり施設運営を行う。</p> <p>(1) 事故、火災、地震等の緊急事態に備えた体制整備と訓練等により実践的に対処できるよう、不断の見直しを行いながら取り組む。</p> <p>(2) 利用者の快適な施設利用のため、不断の目配り、気配り、懇切丁寧な対応を心がけ、要望や意見に対する対応と取り組みを継続的に行う。</p> <p>(3) 障害のある方への「合理的配慮」への取り組みを行い、障害を理由とする差別解消の推進に努める。</p> <p>(4) 長年の施設管理運営の経験を活かし、設備の保安維持のための日常的な管理・点検を強化、施設、設備の老朽化に備えた予防措置とニーズに合った設備の整備を行う等安全かつ快適、清潔な施設の維持管理を行う。</p> <p>(5) 楽都仙台や劇都仙台的拠点施設として事業の運営サポート、施設の特長を活かした大規模事業運営への参画、連携等、「劇場・音楽堂等の活性化に関する法律」の趣旨をふまえた施設運営を行う。</p> <p>(6) 質の高い管理運営業務を継続、求められる施設情報をより正確にわかりやすく伝え利便性の向上に努める。当館に親しみを感じ、施設の個性や特色を高められるような事業を積極的に実施するなど利用者拡大やサービス向上を図る。</p> <p>(7) 指定管理者として公の施設の適正な管理運営に不可欠な個人情報の保護、機密の保持及び法令遵守に関する研修のほか青年文化センター内で実施の各種研修、財団全体で実施の研修、外部研修等への積極的な参加により、管理運営業務や仙台市の文化芸術事業に関わるために必要な資質の向上を図る。</p>						収益事業を含む

(2)泉文化創造センター管理運営事業

115	泉文化創造センター管理運営	通年	仙台銀行ホール イズミティ21	130,659	130,659	市指定管理料 130,659
<p>「仙台市市民文化事業団・東北共立・石井ビル管理グループ」として令和2年度から5年間の指定管理を受け、その最終年度となる当年度は次のとおりの業務を行う。</p> <p>(1)大規模改修工事にとまなう2年間の休館があげ、利用が再開されることから、施設貸出業務をスムーズに行えるよう努めていく。</p> <p>(2)市民の芸術文化の振興と育成の場を提供し、自主的な文化活動の拠点となるよう、市民が利用しやすい開かれた施設運営を目指していく。</p> <p>(3)施設利用や公演実施に関する相談に応じ、的確な情報や助言を提供するなど、利用者への支援を充実させる。</p> <p>(4)適切で丁寧な接客業務を行うとともに、施設貸出しに際しては、アンケートや「お客様の声」等を参考に、利用者の立場に立った施設運営を行っていく。</p> <p>(5)施設の安全な維持管理に努め、各種災害に備えた防災体制をより整備し、省エネルギー、バリアフリーへの取り組みを引き続き推進していく。</p> <p>(6)施設を活性化させる事業として、クラシックコンサートシリーズ、泉中央地区プレイガイド事業、市民との協働によるロビーイベント、避難訓練コンサート及びボランティアによるピアノ弾き込み事業を行う。</p>						収益事業を含む

(3)せんだいメディアテーク管理運営事業

116	せんだいメディアテーク 管理運営	通年	メディアテーク	673,372	673,372	市指定管理料 673,372
<p>令和4年度から5年間の指定管理を受け、その3年目となる当年度は次のとおり運営を行う。</p> <p>(1)今後の大規模改修とその後を見据え、計画的に保全を図っていく。</p> <p>(2)人々が様々なメディアを通じて自由に情報のやりとりを行う生涯学習の場として、また美術や映像文化等を中心とする芸術文化活動の拠点として、施設・設備の適切な管理運営に努めるとともに、施設の利用者に対するきめ細かなアドバイス等を行い、市民が利用しやすい施設運営を行う。</p> <p>(3)メディアを活用した生涯学習活動及び文化活動にかかる情報・資料の収集、調査研究及び普及啓発、視聴覚障害者に対する情報活動の支援を行う。</p> <p>(4)美術・映像に係わる情報・資料の収集及び提供並びに展覧会、講習会その他の催しを行うほか、展示や上映のための施設の提供を行う。</p> <p>(5)引き続き協働事業を進展させ、市民参加型事業を積極的に進めるとともに、学校との連携を図り次世代の育成に取り組む。</p> <p>(6)博物館連携ネットワーク「仙台・宮城ミュージアムアライアンス」事務局業務を仙台市教育委員会と共同で担う。</p> <p>(7)東日本大震災の復旧・復興の過程を、市民・専門家・スタッフが協働して記録・発信し、「震災の記録・市民協働アーカイブ」として、整理・保存・利活用する取り組み「3がつ11にちをわすれないためにセンター」の運営を行う。</p>						収益事業を含む
117	せんだいメディアテーク ライブラリー運営・美術映像文化推進事業	通年	メディアテーク	8,586	8,586	市指定管理料 8,586
<p>映像音響ライブラリー、視聴覚障害者情報ライブラリーにおける映像音響資料及びデジタル資料等の収集・整理・提供事業を推進し、市民の情報検索及び閲覧の環境を提供する。また、せんだいメディアテークの事業及び「3がつ11にちをわすれないためにセンター」において集められた震災関連の映像等を含む様々な協働による地域の芸術文化活動の記録や制作物を、「smtコレクション」として公開し、映像音響ライブラリーを通じて提供する。</p>						